

遠山川づくり会議

河川愛護団体に登録

南信濃 規約定め、2月から美化も

飯田市南信濃地区を流れる遠山川の整備をめぐり、県下伊那南部建設事務所と住民が協働で昨年10月に発足した「遠山川いい川づくり推進会議」は29日、南信濃自治振興センターで会合を開いた。メンバーやオブザーバーら25人が出席。県の河川愛護活動支援事業活動団体に登録し、2月から美化活動に取り組み方針をまとめた。

河川整備について考えた前身組織は、教育関係者を加えて常設化した。

会合では規約を定め、会長に南信濃まちづくり委員会の玉置洋一会長が就任。3人・自然・文化のハートニ



推進会議の会合

川岸・水際部が本来有する景観・自然環境を発揮することを目指し、自然石を使用して河床低下を防ぐ帯工や、床張工、護岸保護を目的とした根固め工などを行う。

遠山川では河床低下が深刻なため、これらの工事を進めることで、観光客の到来が多い道の駅遠山川郷付近の河道に水を行き渡らせ、水際広場を設けて親水性を高める計画だ。

玉置会長は「遠山川は地域の財産。三遠南信自動車道の開通で交流が盛んになることを見据え、この財産を生かしていくためにみんなで知恵を絞らなければならない」と話していた。

「川」を推進するための活動を、良好なまちづくりの形成に資する」を目的に定めた。県の河川愛護活動支援事業活動団体への登録も承認。近日中に申請し、2月にも和川の計説明も受けた。

中橋付近、左岸一帯の治水機能の確保と、